

# 社会福祉法人むつみ会 定款

## 第 1 章 総 則

### (目的)

第 1 条 この社会福祉法人むつみ会（以下「法人という。」）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的として次の社会福祉事業を行う。

(1) 第二種社会福祉事業

(イ) 保育所の経営

### (名称)

第 2 条 この法人は、社会福祉法人むつみ会という。

### (経営の原則等)

第 3 条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取り組みとして、子育て世帯を支援するため、無料または低額のな料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

### (事務所の所在地)

第 4 条 この法人の事務所を埼玉県入間市宮寺 3239 番地 2 号に置く。

## 第 2 章 評 議 員

### (評議員の定数)

第 5 条 この法人に評議員 7 名以上を置く。ただし、3 年間は 4 名以上とする。

### (評議員)

第 6 条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は監事 2 名、事務局 1 名、外部委員 1 名の合計 4 名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選候補者の推薦状及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適

任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもっておこなう。

(評議員の任期)

第7条 評議員の任期は選任後四年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の時までとし、再任を妨げない。

2 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第8条 評議員に対しての報酬は、無報酬とする。

### 第 3 条 評 議 員 会

(構成)

第9条 評議員会は、すべての評議員会をもって構成する。

(権限)

第10条 評議員は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事並びに会計監査人の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) その他評議員会で議決するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第11条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合開催する。

(招集)

第12条 評議員会は、法令に別段定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び召集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第13条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、損過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の議決について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上にあたる多数をもっておこなわなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第15条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

#### (議事録)

第14条 評議員の議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した評議員及び理事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第 4 章 役員及び職員

#### (役員〈及び会計監査人〉の定数)

第15条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事6名以上
- (2) 監事2名以上

2 理事のうち1名を理事長とする。

3 この法人に会計監査人を置く。

#### (役員を選任)

第16条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長は、理事会の決議によって選任する。

#### (理事の職務及び権限)

第17条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款を定めるところにより、職務を遂行する。

#### (監事の職務及び権限)

第18条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況を調査することができる。

#### (職員)

第19条 この法人に職員を置く。

2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という）は、理事会において、選任及び解任する。

3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

## 第 5 章 理 事 会

(構成)

第 20 条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第 21 条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び理事の選定及び解職。

(招集)

第 22 条 理事会は理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第 23 条 理事会の決議は、決議鵜について特別の利害関係を有す理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、社会福祉法第 45 条の 14 第 9 項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 24 条 理事会の決議については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

※理事長及び監事も記名押印することもできる。

## 第 6 章 資 産 及 び 会 計

第 25 条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産の二種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

- (1) 埼玉県入間市宮寺 3239 番地 2 号所在の木造平屋  
ゆりかご保育園園舎 一棟 926.93 平方メートル
- (2) 埼玉県入間市宮寺 3239 番地 2 号のゆりかご保育園  
敷地 2967.83 平方メートル

3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。

4 基本財産に指定されて寄付された金品は、速やかに第 2 項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。

(基本財産の処分)

第 26 条 企保運財産を処分し、又は担保にしようとするときは理事会及び評議員会の承

認を得て入間市の承認を得なければならない。ただし、次の各校に掲げる場合には、入間市の承認は必要としない。

- 一 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合。
- 二 独立行政法人福祉医療機構と協調融資(独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に関する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資を言う。以下同じ。)に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合(協調融資に係る担保に限る。)

#### (資産の管理)

第27条 この法人の資産は、理事会が定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

#### (事業計画及び収支予算)

第27条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合にも同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

#### (事業報告及び決算)

第28条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、今次の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の付属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)
- (5) 貸借対照表及び収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)の付属明細書
- (6) 財産目録

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 事業の概要を記載した書類

#### (会計年度)

第29条 この法人の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第30条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の処置)

第31条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の三分の二以上の同意がなければならない。

## 第7章 解 散

(解散)

第32条 この法人は、社会福祉法第四六条第一項第一号及び第三号から第六号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第33条 解散(合併又は破産による解散を除く。)した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、この社会福祉法人並びに社会福祉事業を行うが公法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

## 第8章 定 款 の 変 更

(定款の変更)

- 第34条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、入間市の許可(社会福祉法第四五条第二項に規定する厚生労働省で定める事項に係るものを除き。)を受けなければならない。
- 2 前項の厚生労働省で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を入間市に届け出なければならない。

## 第9章 公 告 の 方 法 そ の 他

(公告の方法)

第35条 この法人の公告は、社会福祉法人むつみ会の掲示板に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第36条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員、評議員、会計監査人は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長 小泉 泰人

理事 奥山 陽子

理事 斎藤 貞次

理事 秋吉 靖子

理事 中村 真理子

理事 大和 幸子

監事 古林 裕子

監事 石川 清一

附 則

この定款は、埼玉県知事認可の日（平成12年6月16日）から施行する。

この定款は、埼玉県知事認可の日（平成13年8月17日）から施行する。

この定款は、埼玉県知事認可の日（平成18年2月20日）から施行する。

この定款は、入間市長認可の日（平成25年8月2日）から施行する。

この定款は、入間市長認可の日（平成29年1月4日）から施行する。